

地域と共にある学校づくり

信州型コミュニティスクール

北信地区活動だより

NO. 16 (令和2年10月) 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 岡田 絵美

近年、日本全国で自然災害が発生し、多くの人々が被災しました。第16号では、学校と地域とが協働し、様々な組織とも連携しながら、体験的で実践的な防災訓練を行っている事例を紹介します。

信里小



「学校と地域が連携して地域の防災を考える」

信里小学校の防災教育

信里小学校では、「自ら考え行動できる子どもの育成と、地域と連携した防災活動」を目指し、防災教育に取り組んでいます。

昨年度、土曜参観日に合わせて、総合防災訓練として、児童・保護者・地域住民合同での避難訓練や、地域の危険箇所確認及び避難場所の確認を行いました。今年度も土曜参観日に防災訓練を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、地域住民と児童・保護者とで、会場を分けての訓練となりました。

親子で考え、体験する防災教育（様々な組織との連携）

新型コロナウイルス感染防止に配慮して、今年はテレビ放送による講話を聴きました。信州大学、日本赤十字社長野県支部の講師によるお話を教室のテレビで見ながら、お家の方と共に、避難所で注意することや、危険箇所について、親子で話し合いながら学んでいました。また、市の危機管理防災課の方々により設置された模擬避難所体験では、段ボールベッドに寝転んだり、簡易トイレを覗いたりして実際に使う場所を体験しました。さらに、包装食米飯（お米を専用の袋に入れて煮沸させて炊いたもの）や備蓄されている非常食クラッカーを親子で試食しました。



ポイント

日本赤十字社等
防災活動の講習会
を行う組織と連携
することで、より
実践的な防災教育
が実現できます



■ 実際の場合で行う、実践的な防災訓練

体育館では、市の危機管理防災課や区長会の皆さんが、実際の避難用設備を準備し、集まった地域の方々と避難所の設営訓練を行っていました。学校が避難所に指定されており、ここで訓練したことが災害の際にすぐ役立つこととなります。

避難所の設営は初めてです。段ボールベッドは思ったより丈夫ですね。これは足の不自由な方やお年寄りに座っていただくのに良いので、避難所開設の時には最初に作れば良いことが分かりました。普段は学校ボランティアとして関わっていますが、防災訓練で学校に集まることは大事だと思いました。今度は子ども達と一緒にできるといいと思います。

【訓練に参加した地域の方の声】



■ 「防災」を通して、学校と地域がつながる

学校は子ども達の学びの場であると共に、地域の方にとっての交流の場としての役割もあります。信州型コミュニティスクールの活動を通して、県内各地で、子ども達と地域の方々との交流が広がっています。それに加えて、地域の方がお茶を飲んだり、情報交換をしたりと、居場所としての役割を果たしている事例も増えてきています。今後は、防災の拠点として地域と学校とが連携していく場となることも考えられます。平成28年の熊本地震時、日頃からコミュニティスクールとして学校と地域が連携していた学校は、避難所の運営がスムーズだったそうです。日頃からの連携・協働が、いざという時に地域を支える力となります。

💡ポイント「学校で防災訓練を行うことで生まれる、地域とのつながり」

- ・学校で防災訓練を行い、地域の方に学校に来ていただくことで、学校内の様子や子ども達の様子を直接見て知ってもらうことができます。
- ・防災訓練を通して、地域の方と子ども達が共に活動することができ、顔が見える関係を築くことにつながります。
- ・子ども達が地域の方と防災訓練を行うことを通して、自分達も「地域の一員」であり、災害時には自分も地域を支える、という意識を醸成することができます。



「学校の防災管理の手引き」をご活用ください

平成30年度に作成し、県下の学校に配付された、学校における災害発生時の対応について、準備や対策、訓練などを時系列に沿ってまとめたリーフレットです。

事前の安全対策を強く意識し、学校の実情に応じた防災対策を充実させることを目的としています。

ぜひ、ご活用ください。

【お問い合わせ】

長野県教育委員会 保健厚生課 026-235-7444



地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に出向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡していただけたらと思います。

■■お問い合わせ先■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1
Tel: 026-234-9552 E-mail: hokushinkyu@pref.nagano.lg.jp